

メキシコ 2025年のアボカド生産量と輸出量は増加を予測

[FreshFruitPortal](#) 2025年4月8日

(訳注: 元の英文記事では重さはショートトン、面積はエーカーで表記されていますが、翻訳では引用されている米国農務省の年次報告書に従いメートル法のトン及びヘクタールで表記しています。)

最近公表された米国農務省の[年次報告書](#)によると、2025年のメキシコのアボカドの生産量は、2024年の推定267万トンに比べて3%増となる275万トンと予測されている。この増加は、良好な生育条件、農法の改善、及び旺盛な輸出需要に起因している。

アボカドの栽培面積は2025年も比較的安定しており、約25万6,500ヘクタールと予想されている。生産者達は、これはミチョアカン州における新たな「森林非破壊認証プログラム」と土地利用規制の厳格化により、新植が制限されているためであると報告している。メキシコの農業食品水産情報サービス(SIAP)のデータによると、2024年のアボカドの栽培面積は、2023年に比べ1%減の約25万6,200ヘクタールであった。

ミチョアカン州はメキシコ最大のアボカド生産州で、全国の生産量の68%を占めており、次いでハリスコ州が12%、メキシコ州が5%となっている。ミチョアカン州では、好ましくない天候条件と、森林伐採地にある果樹園への罰金等の執行措置の強化により、2024年には生産量が1%減少した。

一方、ハリスコ州の生産量は、輸出需要と十分な水資源により5%増加した。ミチョアカン州とハリスコ州だけが米国への輸出資格を有するが、他の州も国際市場に輸出しながら、国内市場にも供給している。

貿易

米国のトランプ政権が最近発表した、米国のすべての貿易相手国に対する10%の基本関税の設定により、農産物業界に広範な懸念が広がっている。ただし、アボカドは、T-MEC(メキシコ・米国・カナダ協定)の原産地規則に準拠している限り、0%の関税が維持される。

米国農務省によると、メキシコのアボカド輸出量は2025年に134万トンに達すると予測されており、これ(T-MECによるゼロ関税)は特に重要になる。この輸出量が実現すれば、主に米国からの国際需要の増加に対応した前年比5%の増加となる。2024年の推定輸出量は約128万トンで、主に物流コストの上昇と収穫量の変動により、2023年から9%減少した。

2024年の米国向け輸出量は約107万トンで、前年比5%の減少となった。メキシコのアボカド輸出量のうち、米国市場向けは80%以上を占めており、次いでカナダが7%、日本が3%であった。

アボカドは一年中輸出されるが、最盛期は12月から2月で輸出の35%以上を占め、スーパーボウル(毎年2月上旬の日曜日)はメキシコ産アボカドの米国向け輸出需要の重要な推進力となっている。メキシコは2024年の米国の全アボカド輸入量の約88%を供給した。

輸出市場では、その味、食感、さらに日持ちの良さから、一般的にハスアボカドが他の品種よりも好まれる。2024年のメキシコの農産物輸出の中でアボカドはビールとテキィラに次いで3位に位置し、ベリー類とトマトを上回った。

2024年7月以降、米国農務省は、米国向け輸出のためのアボカド果樹園の認証に関する監督方法を改訂した。この変更により、米国農務省は第3者機関の認証に当たってすべての果樹園の現場に立ち会うのではなく、日々の果樹園の活動をリモートで監視し、必要に応じて監査を実施できるようになった。